

料金後納郵便

ゆうメール

毎月1回5日発行
令和7年10月5日発行
昭和30年5月20日
第三種郵便物承認



高岡商工会議所会報

たかおか

10

2025
October

NO.810



【特集】 高岡商工会議所伏木支所の歩み

市場街 2025

高岡商工会議所伏木支所の歩み

高岡商工会議所旧伏木支所は、令和6年1月1日に発生した能登半島地震により大きな被害を受け、惜しまれつつ今秋、公費解体されることとなりました。長年にわたり地域と共に歩み、文化的価値を有する建物の姿を後世に伝えるため、このたび当所では「伏木支所メモリアル展示」を開設いたしました。

今回の特集では、伏木支所の歩みと能登半島地震による被災の経緯、そして新たに設置されたメモリアル展示の内容についてご紹介いたします。



●伏木支所の歴史

伏木支所の建物は明治40年（1910年）、伏木・湊町に「伏木銀行」として創設されました。国内物流や貿易の拠点であった伏木港を背景に、金融面から地域の発展を支える重要な役割を果たしました。

昭和48年（1973年）には高岡商工会議所がこの建物を買い取り、「高岡商工会議所伏木支所」として活用を開始。所有者の変遷を経ながらも「使いながら保存」が図られ、保存状態も良好であったことから、平成8年（1996年）に国登録有形文化財制度の第1回認定において富山県第1号に登録されました。

以来、伏木地区における商工団体や地域団体の活動拠点として幅広く利用され、地域のシンボルとして長く親しまれてきました。



文化財認定の銘板プレート

●建物の見どころ

伏木支所の建物は、日本の伝統的な耐火構造である土蔵造りの町家を基調とし、スクラッチタイル貼りの2階建てで建築されました。元は黒漆喰であったと伝えられ、玄関ポーチの柱や上げ下げ窓、軒蛇腹（のきじゃばら）、天井装飾、螺旋階段、45度に切ってポーチを付けた玄関など、当時の近代様式をふんだんに取り入れた和洋折衷の意匠は、港町・伏木の繁栄を象徴する先駆的なデザインでした。



洋風建築の数々

●令和6年能登半島地震による被災

令和6年元日に発生した能登半島地震では、高岡市内で震度5強を観測し、伏木地区では液状化現象が発生しました。伏木支所は、建物全体が傾き、壁の大きな亀裂、タイルのはがれなど甚大な被害を受け、大規模半壊と判定されました。

その後、復旧の可能性を模索しましたが、膨大な修復費用や液状化被害などを総合的に考慮し、公費解体の決断に至りました。



被災の状況

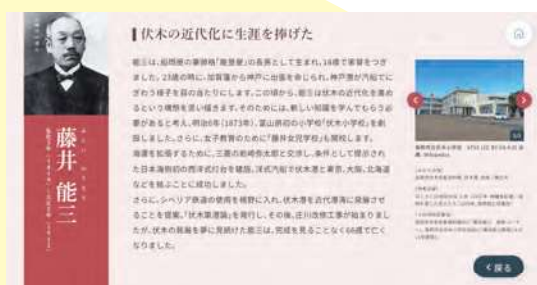
●メモリアル展示事業

こうした歴史的価値を有する支所の姿を後世に残すため、「伏木支所メモリアル展示」を高岡商工ビル2階ロビーに開設しました。展示では、歴史や文化的価値を解説するパネルのほか、実物の柱や文化財認定の銘板プレートなどを設置しています。また、タッチパネル式モニターでは360度ビュー映像を体験でき、建物の全体像や内部の雰囲気を感じていただくことができます。さらに、富山県西部産業開発協議会（事務局：富山県高岡市丸の内1-40 会長：塩谷 雄一）による「富山県西部の産業偉人 未来づくりびと」として、県西部出身の偉人を紹介しています。メモリアル展示とともに、県西部出身の偉人が残した功績を通じて、地域産業の歩みと先人たちの精神を次世代へ伝えてまいります。

来場される皆さまには、伏木支所の歴史とあわせて、郷土の産業発展に尽力した先人たちの姿にも触れていただければ幸いです。



モニター展示



- オープン日 通年公開（お正月を除いて年中無休）
- 見学時間 午前9時より午後5時まで 見学自由（見学無料）
- 展示場所 高岡商工ビル2階（高岡市丸の内1-40）



伏木支所メモリアルタッチパネル
富山県西部の産業偉人紹介

【問合先】 高岡商工会議所 TEL 23-5000

PHOTO LIBRARY



9.8～12

高岡商工会議所 2号選任部会

各部会の推薦が決まる

3年任期（令和4年11月～令和7年10月）満了に伴う、高岡商工会議所議員改選。

議員選出方法の一つである全7部会（金融情報、工業、流通、伝統産業、観光・サービス業、運輸交通、建設）の各部会員から選任する、2号議員の選任部会が9月8日の観光・サービス業部会から順次開催された。慎重審議の結果、全42社の推薦が決定し、告示の通り執務執行者（議員予定者）の届出を受け付けた。

新議員120名は11月4日の組織議員総会を経て新たな任期を迎える。



9.9～11

集合健康診断

年に一度はメディカルチェック

労働安全衛生法により事業主は従業員に対して年1回の健康診断を行う義務がある。当所では2025年度の集合健康診断を実施した。毎年（一財）北陸予防医学協会の巡回健診を高岡商工ビルで行い、基本的な診断から、胃部X線検査、乳がん検査などのオプション検査まで希望に合わせて設けた3コースを実施する他、高岡総合健診センターで受診できる人間ドックも受け付けている。これらの取り組みにより、会員事業所の従業員に対する生活習慣病の予防および健康の保持・増進を推進している。



9.11

高岡スタートアップ塾

創業に活かせる戦略セミナー

高岡商工会議所では経営者や創業予定者が、地元高岡出身経営者の思いや取組みを学ぶことで、自社経営の改善・変革等へのきっかけを掴み、さらに参加者同士の意見交換や仲間づくりの場とすることを目的に「高岡スタートアップ塾」を開催した。

第1回講座では、株式会社makana works 代表取締役 阿部 亮介氏を講師に迎え、「創業計画の進め方と始め方」と題して講義を行い、塾生24名が参加した。

第2回は株式会社SEKAI HOTEL 代表取締役社長 大野 海氏が講師を務める。



9.12

労務制度ポイントセミナー

人材確保・定着のためのポイントを学ぶ

「売り手市場」で人材不足が続いている昨今、企業にとって人材確保・定着が喫緊の課題となっている。また、2025年4月に施行された改正育児・介護休業法により、人事・総務の方はさらなる対応が必要とされている。そこで、労務担当者を対象とした、労務制度ポイントセミナーをハイブリット形式で開催し、60名（会場参加28名、オンライン参加32名）が参加した。講師の畠山労務管理事務所 代表社員 畠山 拓郎氏より、従業員の働きやすい環境づくりや生産性向上のポイントなどを解説いただき、受講者は熱心に聞き入っていた。



9.19 ~

3級簿記講座

日商簿記3級の資格取得を目指す

正確な簿記実務や記帳方法、経理を学びたい方、初めて簿記を学ぶ方、簿記3級の取得を目指す方を対象とした簿記の基礎講座が開講した。富山県立高岡商業高等学校の松本 彩教諭が講師を務め、9月19日～10月31日の間、全14回にわたり日程で実施される。受講者15名が参加し、熱心にメモを取りながら講義に耳を傾けていた。

11月16日に第171回日商簿記検定試験が行われる予定で、3級取得を目指す受講者は本講座を通じて試験に向けた学習を進めていく。



9.25 ~

新規販路開拓営業力強化セミナー

チラシやSNS画像など販促ツール作成について学ぶ

会社の売上を伸ばし発展させていくために、営業活動の強化は大きな課題と言える。「実践的で、どんな業種の営業でも、すぐに使える手法」をテーマとした提案型営業手法セミナーを開催し、31名が参加した。講師の一番化戦略研究所(株) 代表取締役 高田 稔氏より、自身の悲壮な体験から営業マンとして全国トップ支店を育成に至るまでになった独自手法を披露した。受講者は、理解を深めるだけでなく自身の営業スタイルを見直す機会となった。



9.27

ふしき・あまはらしプレミアム商品券引換

伏木・太田・吉久地区限定プレミアム率30%

伏木地区の商業団体が共同で発行する「ふしき・あまはらしプレミアム商品券」が伏木コミュニティセンターで販売された。地域の消費促進をはかるため伏木、太田、吉久地区に限定した100店あまりが取扱店舗として参加しており、プレミアム率は30%。5度目となる地域商品券は大変人気があり、事前に抽選申込のうえ当選した市民が次々と引き換え会場を訪れ会場は一日中賑わった。使用期限は11月30日まで。

あなたの会社・ お店の新商品やイベント、 キャンペーンを 掲載してみませんか？

高岡商工会議所会報誌「たかおか」では、掲載する情報を随時募集しています。メンバーズニュースでは事業所の紹介、インフォメーションでは新商品・サービス・イベントやキャンペーンなどの紹介を行っています。掲載は会員事業所限定で、無料です。お気軽にお問い合わせください。

【掲載の詳細・お問合せ】

商工観光課 TEL 23-5002

